

科目名	近代美術論		Subject	Modern Art Theory	
サブタイトル	近代美術の見方				
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」		
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術		社会実装
1 年	後期	必修			
授業形態	単位	時間			
講義	2 単位	30 時間	◎		
ゲストスピーカー招聘回		なし			
教員名	伊藤 淳		メールアドレス	atsushi.ito@・・・	
教員の略歴	1993 年、多摩美術大学芸術学科卒業。1996 年、多摩美術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻修了。1997 年～2000 年、フィレンツェ大学文学部在籍。2001 年～、鎌倉女子大学教員として従事。2002 年～、各地の生涯学習センター教員として従事。共著「レオナルド・ダ・ヴィンチの世界」2007 年。				
実践的教育	生涯学習教育の実線で培った、多様な価値観や考え方を反映させた授業内容としている。				
オフィスアワー	授業の前後 3 0 分に直接声をかけてください。				

科目の概要								
フランス革命を前後とした 18 世紀から、美術をめぐる問題は、ジャーナリズムや画商、写真の登場など、様々な環境の変化に浮き彫りになってきます。こうした諸問題について美的価値の多様性の変化を考えながら、「美とは何か」を一緒に考えていきます。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
美容芸術	人にとって美とは何かを近代美術を通して理解し説明することができる。近代の歴史、文化、風習などに関係する美術作品の鑑賞の基礎力を習得し述べることができる。							
教科書・教材								
教科書	教員作成資料							
参考文献	『画商が読み解く西洋アートのビジネス史』高橋芳郎著 ディスカヴァービジネスパブリッシング 2022 年							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	20%	-	-	80%	-	-	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
授業内容を記録する筆記用具、ノートなどを用意すること。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 回	美術アカデミーの歴史	美術教育の歴史が説明できる。	(予習) 美術学校について調べてくること。 (復習) 近代アカデミーの特徴を確認する。	240 分
第 2 回	政治と美術	政治的な美術作品について説明できる。	(予習) 新古典主義美術について調べてくること。 (復習) 新古典主義作品を確認する。	240 分
第 3 回	経済と美術	美術作品を経済の側面から説明できる。	(予習) オランダ貿易について調べてくること。 (復習) 美術作品と経済との関係を確認する。	240 分
第 4 回	産業革命とデザイン	産業革命とデザインとの関係を説明できる。	(予習) 産業革命について調べてくること。 (復習) 産業革命で生まれた工業デザインを確認する。	240 分
第 5 回	フランス革命と美術	フランス革命の絵画を説明できる。	(予習) 画家ダヴィッドについて調べてくること。 (復習) フランス革命に関する絵画を確認する。	240 分
第 6 回	近代都市パリ	近代都市パリの概要について説明できる。	(予習) 近代都市パリについて調べてくること。 (復習) 近代都市と美術との関係を確認する。	240 分
第 7 回	写真と美術	写真が与えた美術への影響を説明できる。	(予習) 写真について調べてくること。 (復習) 写真と美術との関係を確認する。	240 分
第 8 回	ジャーナリズムと美術	ジャーナリズムにおける美術の役割を説明できる。	(予習) 近代ジャーナリズムについて調べること。 (復習) ジャーナリズムにおける信ぴょう性を確認する。	240 分
第 9 回	印象派の誕生	印象派の流れを説明できる。	(予習) 画家マネについて調べてくること。 (復習) 印象派の画家を確認する。	240 分
第 10 回	近代の女性画家	近代女性画家の社会的立場を説明できる。	(予習) 画家ベルト・モリゾについて調べてくること。 (復習) 近代女性の社会活動について確認する。	240 分
第 11 回	パトロンと画商	画家とパトロン・画商の関係を説明できる。	(予習) 印象派の画商について調べてくること。 (復習) 近代画商の発展を確認する。	240 分
第 12 回	ジャポニスム	西洋における日本趣味について説明できる。	(予習) 浮世絵について調べてくること。 (復習) 日本趣味の伝播を確認する。	240 分
第 13 回	日本の近代化と美術	近代日本の美術教育を説明できる。	(予習) 近代日本の美術教育について調べてくること。 (復習) 日本の美術教育の変遷を確認する。	240 分
第 14 回	セザンヌとピカソ	20 世紀アートの転換期を説明できる。	(予習) セザンヌとピカソについて調べてくること。 (復習) セザンヌとピカソの作品を確認する。	240 分
第 15 回	総論・プレゼンテーション	近代美術について自分なりの説明が出来る。	(予習) 選んだテーマについて調べてくること。 (復習) 選んだテーマについて書籍や論文などで再確認する。	240 分